

情報通信技術 (ICT) の進歩によって私たちの生活の利便性は向上する一方で、生活の多様化・複雑化に伴いプラスの側面ばかりとは限りません。技術の進化は私たちの一人一人の生活を変えるとともに、他者や生活環境との関わり方をも変えていきつつあります。このような状況のもと人が技術・社会・環境と相互に豊かに関わるためのコミュニケーションの研究を横断的に議論する必要性から、ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) では、平成 16 年から隔年で、平成 25 年からは毎年特集号を発行してきました。独自の論文誌を有していないヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) の会員にとって、「ヒューマンコミュニケーション」特集号は貴重な情報提供の場となってきました。

さて、次回の「ヒューマンコミュニケーション」小特集 (2024 年 3 月号) は、英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems で企画致します。英文論文誌 D はオープンアクセスジャーナル化されており、みなさまの日頃の研究成果を国際的に広く発信する絶好の機会となります。

1. 対象分野

- ・ヒューマンコミュニケーション基礎
- ・ヒューマン情報処理
- ・メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎
- ・福祉情報工学
- ・発達障害支援
- ・ヒューマンプローブ
- ・食メディア
- ・情報の認知と行動
- ・ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション
- ・魅力工学
- ・リアルタイムコミュニケーション言語
- ・コミック工学
- ・その他、ヒューマンコミュニケーションに関する全般、あるいは新領域

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の英文論文と同一とします。
- ・ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ、レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。
- ・査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

- ・Web による電子投稿のみ受け付けます。 https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。
- ・初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず “Journal/Section” で [Special-HC] ヒューマンコミュニケーションを選択して下さい。 [Regular-ED] を決して選択しないで下さい。
- ・Web による電子投稿の際、“Copyright Transfer, Article Processing Charge Agreement, and Notices from the IEICE, and Privacy Policy” に承諾して頂きます。

4. 論文投稿締切日 2023 年 5 月 2 日 (火) (厳守)

5. 問い合わせ先

- ・ヒューマンコミュニケーション小特集編集委員会幹事団 hcg-tokushu-kanji@hcg.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 近藤一晃 (京大)

副委員長 新井田 統 (KDDI 総合研究所)

委員 安藤英由樹 (大阪芸術大), 大本義正 (静岡大), 小川浩平 (名大), 川崎真弘 (筑波大), 川本一彦 (千葉大), 木村篤信 (東京理科大), 酒井元気 (日大), 酒向慎司 (名工大), 高嶋和毅 (東北大), 田中貴紘

(名大), 中澤篤志 (京大), 平山高嗣 (人間環境大), 前田義信 (新潟大), 松村耕平 (立命館大), 宮城愛美 (筑波技術大), 山西良典 (関西大)

7. 付記

- *招待論文を含む全ての著者は, 論文が採録となった場合, 2023年11月頃に掲載料をお支払い頂くこととなります。2023年12月15日までに支払いが完了しない場合には, 採録取り消しとなります。
- *投稿者に非会員が含まれている場合には, この機会に入会することを勧めます。著者全員が非会員の場合, 非会員掲載料が適用されます。ただし, 招待論文に関してはこの限りではありません。入会の案内はこちらを御覧下さい。 https://www.ieice.org/jpn_r/member/join.html
- *オープン化: 2008年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌Dの論文は, J-STAGEを通じて全世界の読者へ公開されています。
<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/transinf>